

# 2024 ClassNK 技術セミナー プログラム

受付(9:30~10:00)・開会挨拶

## 規則改正の解説

### 規則制定改廃の概要

#### 主な紹介内容

- 往復動内燃機関が受ける傾斜及び加速度
- 鋳鋼品の供試材等
- 揚貨設備及びアンカーハンドリングウインチ
- 貨物船に要求される火災探知警報装置
- 鋼船規則 C 編
- UPS 及び制御弁式シール形鉛蓄電池
- IP コード
- 登録検査
- 技術規則の発信方法

### サイバーセキュリティ (UR E26, E27) に関する規則の概要

船用システムの急速な技術進歩によって、船舶のサイバーセキュリティの重要性が高まる中で、2 つの IACS 統一規則 (UR E26, E27) の適用が開始されました。今回初めてサイバーセキュリティ対策が新造船への強制要件として取り入れられたことを受けて、本会では、関係者様のサイバーセキュリティに関する要件への円滑な対応をサポートすべく数々の取り組みを進めております。本講演では、UR E26 に求められる造船所・船主の対応を中心に紹介いたします。

## 昼休憩 (11:55~13:00)

※申し込みの際に「昼食の申し込み」をされている方には昼食を用意しております。

## 国際条約等の最新動向

### 国際条約等の動向

IMO 第 108 回海上安全委員会 (MSC 108, 本年 5 月) 並びに IMO 第 81 及び 82 回海洋環境保護委員会 (MEPC 81 及び 82, それぞれ本年 3 月及び 10 月) の審議結果を含めた IMO 関連の最新動向について紹介いたします。

### シップリサイクル条約の最新動向

シップリサイクル条約 (香港条約) が 2025 年 6 月 26 日に発効することとなりました。条約発効後は、有害物質インベントリ (IHM) の所持、承認された船舶リサイクル施設での解体等が義務付けられます。本講演では、この条約の概要と本会の対応等について紹介いたします。

## GHG 関連の研究開発と最新技術動向

### ClassNK 代替燃料インサイトの概要及び本会の対応

国際海運において船舶からの GHG 排出削減を促すためのコスト負担を伴う新たな規制が相次いで導入される中、このような規制に適切に対応するためには、将来的には代替燃料の使用が不可欠となります。本講演では、代替燃料の動向等をまとめた「ClassNK 代替燃料インサイト」の概要について、本会のサポートサービスと併せて紹介いたします。

### FuelEU Maritime の概要及び最新動向

欧州発着の船舶で使用する燃料に対する GHG 強度 (エネルギー当たりの GHG 排出量) の上限値などを定める FuelEU Maritime 規則が 2025 年 1 月より適用開始となることから、制度の概要について解説するとともに、船主側の FuelEU Maritime 対応のためのスケジュール、ポーリングやブーリングのケーススタディ、本会の対応等について紹介いたします。

### 船用燃料ライフサイクル GHG 強度ガイドライン

MEPC 80 で採択された 2023 年 IMO の GHG 削減戦略目標では、新たな目標として 2050 年までに GHG 排出ネットゼロが掲げられ、船用燃料の製造、輸送、船上での使用に至るライフサイクル全体での GHG 排出を考慮することが盛り込まれ、ライフサイクル全体での GHG 強度を評価するためのガイドラインも併せて採択されました。本講演では、船用燃料ライフサイクル GHG 強度ガイドラインについて、最新情報を交えて紹介いたします。

### 代替燃料船の動向と本会の取り組み

船舶からの GHG 排出削減については、2023 年 IMO の GHG 削減戦略目標において、2050 年までに GHG 排出ネットゼロを目指すこととされており、これに対応すべく、業界では新技術・代替燃料導入等に向けた取り組みが活発化しております。このような背景の中、代替燃料船に関する規則体系及び審査体制を説明したのち、本会がかかわるプロジェクトの概要について紹介いたします。

### Dual Fuel 機関の世界の開発動向と技術課題

ゼロエミッション (ゼロカーボン) 燃料とカーボンニュートラル燃料を利用する船用機関の開発に関し、NEDO の「グリーンイノベーション基金事業」を含む国内の進捗状況のアップデート及び欧州における最新の開発動向について紹介いたします。

## ClassNK 研究開発の成果概要と今後の取り組み

### ClassNK 研究開発の成果概要と今後の取り組み

最近の技術研究所における研究開発成果、ワンストップでの包括的な認証サービス実現に向けた新たな研究開発の取り組み等について紹介いたします。

閉会挨拶 (17:15 閉会予定)